ロボット支援前立腺全摘術後の尿禁制回復に関する予測因子の検討

１．研究の対象

2020年1月から2025年11月までに、当院でロボット支援前立腺全摘術（RARP）を受けられた患者さん

２．研究目的・方法

本研究は、ロボット支援前立腺全摘術後の尿禁制回復に影響を与える因子を明らかにすることを目的としています。

診療録情報を用いた後ろ向き観察研究として実施し、術後尿禁制回復までの期間をアウトカムとして、各種臨床因子との関連を統計学的に解析します。

主な解析として、Kaplan-Meier法、log-rank検定、Cox比例ハザードモデルを用います。

また、膜様部尿道長（MUL）などの連続変数についてはカットオフ値の検討も行います。

研究期間：倫理審査承認日から2026年12月31日まで

３．研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、BMI、ASAスコア、G8、前立腺体積、膜様部尿道長（MUL）、神経温存の有無、カテーテル留置期間、手術時間、出血量、尿禁制回復までの期間 等

※新たな試料採取は行いません

４．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先：
岐阜県立多治見病院 泌尿器科
TEL：0572-22-5311
担当者：藤田高史
研究責任者：
岐阜県立多治見病院 泌尿器科　藤田高史